2021年度事業報告について

自　2021年4月　1日
至　2022年3月31日

Ⅰ 2021 年度活動総括

2020 年度に続いて、2021 年度も新型コロナウイルス対応に注力した 1 年であった。

9 月末まで緊急事態宣言等が断続的に発出され、景気は力強さを欠き、10 月以降、緊急事態宣言等が解除されたが、リベンジ消費と言われるような個人消費の盛り上がりも限定的であり、景気の後押しには至っていない。

また、2022 年年明けから 3 月 21 日まで、オミクロン株の急激な感染拡大を受けて、まん延防止等重点措置が発出され、再び経済活動が制限された。

協会活動においても、新型コロナウイルスの猛威により多くの事業が制限を受けたが、感染防止対策を徹底し、できる限りの事業を進めてきた。

2020 年度に中止した接客ロールプレイングコンテスト大会は、支部大会を無観客で行ったものの、2022 年 1 月の全国大会は、有観客で実施することができた。

また、SC ビジネスフェア 2022 は規模を縮小したが、2 年ぶりにリアルでの商談展示会を開催し、セミナーもコロナ下で得たノウハウを生かし、リアルとオンライン受講のハイブリッドで開催した。

年間 38 本実施した研修会もリアルと Web セミナーの併催にて行うことにより、参加機会の拡充に取り組んだ。

特筆事項としては、昨年度来の公共政策関連の取り組みが挙げられる。国や自治体等にコロナ下での SC 業界の現状を伝えながら諸般の支援策や営業継続の要望をするとともに、会員へタイムリーに情報発信を行った。

また、「固定資産税の負担軽減措置」と「災害対策への公的支援」に重点を置いた税制改正要望では、国交省・経産省との意見交換や関係議員への要望活動を行った結果、固定資産税については、課税額が上昇する土地における課税標準額の上乗せ分について、本来評価額からの激変緩和措置を得ることができた。

2021 年度は、これらの取り組みなどを通じ、会員価値の向上に努めた結果、年度末会員数はキャンペーン実施の効果もあり 910 社となった。

Ⅱ 会議

1. 総会

【2021 年度実績】第 49 回定期総会(2021 年 6 月 2 日)

2. 理事会

【2021 年度実績】 第 1 回理事会(2021 年 4 月 27 日)
第 2 回理事会(2021 年 6 月 2 日)
第 3 回理事会(2021 年 10 月 26 日)

3. 企画会議

【2021 年度実績】第 1 回企画会議(2021 年 10 月 18 日)
第 2 回企画会議(2022 年 3 月 28 日)

Ⅲ 支部活動報告

支部名	活動報告
北海道支部	1. 運営委員会 ・第 1 回(2021 年 10 月 1 日(金)/ 新さっぽろアークシティホテル) 2. SC 接客ロールプレイングコンテスト北海道大会(2021 年 10 月 15 日(金)/TKP札幌ビジネスセンター赤れんが前) 3. 支部総会 (2022 年 3 月 8 日(火)/新さっぽろアークシティホテル) 4. 支部セミナー(2022 年 3 月 8 日(火)/新さっぽろアークシティホテル) テーマ:『人口減少、EC 時代の真のディベロッパーとは ～経営資源を最大限に活かす SC 経営～』 講師: ㈱ SC&パートナーズ 代表取締役 西山 貴仁 氏(SC 経営士)
東北支部	1. 支部総会(2022 年 3 月 2 日) ※新型コロナウイルス感染拡大のため中止し、書面決議 2. 運営委員会 ①第 1 回運営委員会(7 月 6 日・オンライン開催) ②第 2 回運営委員会(10 月 6 日・オンライン開催) 3. 秋の研修会・懇親会 (11 月 16 日 ・ ホテルメトロポリタン仙台) 参加者数: 研修会 59 名/懇親会 40 名 (講師、事務局含む) テ ー マ:『未来をどう生き抜く -迫られるSCの構造改革-』 講 師: JR西日本SC開発㈱ 顧問 NPO法人TOMネット 理事 山田 宗司 氏 (前 調査研究委員会委員長) 4. 春の研修会 (3 月 2 日・ホテルメトロポリタン仙台) ※新型コロナウイルス感染拡大のため中止 テ ー マ:『なぜ今、ヘルスケアが求められているのか』 講 師: 一般財団法人日本ヘルスケア協会 会長 今西 信幸 氏 (医学博士) 5. SC接客ロールプレイングコンテスト東北大会 (10 月 27 日・ホテルメトロポリタン仙台) 競技者数: 合計 27 名 (前回 61 名) ファッション・物販部門・・・21 名(前回 42 名) 飲食・サービス部門・・・6 名(前回 19 名) ※各部門の優勝者が支部代表として 1 月 28 日の全国大会へ出場され、引屋敷未知子さん(ファンケル・エスパル仙台)がファッション・物販部門優勝に輝いた。 6. 会員募集 第 1 回運営委員会における「入会促進のお願い」に基づき、東北支部運営委員の皆様から 8 社の入会候補企業をご紹介いただき、うちテナント企業 5 社(㈱柏屋様、㈱かんの屋様、㈱杵屋本店様、㈱清川屋様、㈱三万石様)にご入会いただいた。また、イオンリテール㈱様の組織変更に伴い、イオン東北㈱様にご入会いただいた。
関東・甲信越支部	1. 支部総会(3 月 3 日・協会会議室&オンライン) 2. 運営委員会 (1)第 1 回運営委員会(7 月 14 日㈬／協会会議室&オンライン) (2)第 2 回運営委員会(11 月 22 日㈪／協会会議室&オンライン) 3. 研修会 (1)第 1 回研修会(7 月 16 日㈮／施設説明:オンライン配信 視察:GREEN SPRINGS) 『「GREEN SPRINGS(グリーンスプリングス)」視察研修会』 参加者:62 名(うち現地視察は 27 名) (2)第 2 回研修会(11 月 19 日㈮／府中市市民活動センター プラッツ) 座談会『府中のまちづくりとミッテン府中』 ［登壇者］㈱ノジマ ミッテン府中館長 栗原 郁男 氏 (一社)まちづくり府中 タウンマネージャー 廣瀬 健 氏 ㈱フォルマ 代表取締役社長 田中 篤也 氏 (当支部副支部長) 講演会『地域活性の新たな取り組み～地域応援消費販売会について～』

	［講　師］㈱ハギヤ　首都圏担当役員　萩谷 竜樹 氏 現地視察（自由視察・自由解散） 参加者：34 名 (3) 第 3 回研修会（2 月 24 日㈭／ところざわサクラタウン） 視察会　ところざわサクラタウン視察（㈱KADOAKWA 引率） 講演会『日本最大級のポップカルチャー発信拠点「ところざわサクラタウン」 ～街づくりや販促におけるポップカルチャーコンテンツの可能性～』 ［講　師］㈱KADOKAWA　レクリエーション事業局局長　西澤 元晴 氏 ※開催延期、2022 年度第 1 回研修会として改めて開催予定 (4) 第 4 回研修会（3 月 3 日㈭　協会会議室＆オンライン） 『どこからはじめる？　SC の SDGs』 講演①『ハートフル・サステナブルの実現にむけて』 ［講　師］イオンモール㈱　戦略部　ESG 推進グループ　マネージャー　森本 満 氏 講演②『みんなで SDGs について考える場所を提供 「おやまゆうえんハーヴェストウォーク」の“SDGs なワークショップ”』 ［講　師］三菱商事・ユービーエス・リアルティ㈱　都市事業本部　運用一部　兼 戦略企画室　桃井 真之介　氏 ㈱ザイマックス　おやまゆうえんハーヴェストウォーク副所長　川崎 裕史 氏 講演③『「横浜岡田屋」における SDGsの取り組みと“フードドライブ”』 ［講　師］㈱横浜岡田屋　常務取締役　営業本部長　三橋 一夫 氏 ㈱横浜岡田屋　管理本部　渉外・広報・秘書グループ　グループリーダー 星野 なつき 氏 参加者：80 名 4. 単館 SC 研究会 (1) 第 34 回（8 月 10 日㈫／協会会議室＆オンライン） (2) 第 35 回（12 月 14 日㈫／協会会議室＆オンライン） (3) 第 36 回（3 月 30 日㈬／協会会議室＆オンライン） 5. 第 27 回 SC 接客ロールプレイングコンテスト支部大会 (1) 東京大会（10 月 4 日㈪～8 日㈮／ムーブ町屋） 競技者数：121 名（前回 201 名）、参加 SC 数：66（前回 105） (2) 関東・甲信越大会（12 月 6 日㈪～11 日㈯／日中友好会館） 競技者数：191 名（前回 320 名）、参加 SC 数：86（前回 150） ※緊急事態宣言延長にともない開催日変更（当初 9 月 7 日㈫～10 日㈮、13 日㈪～14 日㈫）
中部支部	1. 運営委員会 (1) 第 1 回運営委員会（7 月 20 日・コンベンションルーム AP 名古屋） ・2021 年度中部支部総会および運営委員会の日程について ・2021 年度 SC 接客ロールプレイングコンテスト中部大会の運営について ・中部支部セミナーの企画・立案方法について (2) 第 2 回運営委員会（12 月 8 日・コンベンションルーム AP 名古屋） ・2021 年度第 3 回運営委員会＆支部総会の開催について 2. 支部主催研修会（7 月 20 日・コンベンションルーム AP 名古屋）　参加者 36 名 ・第 1 講『商業施設における DX 活用の可能性』 講師：日本電気㈱　エキスパート　　青木 規至　氏 ・第 2 講『after コロナ時代に向けた丸井グループの共創経営』 講師：㈱丸井グループ 執行役員　㈱エポスカード 取締役 営業本部長　津田 純子　氏 ・名刺交換会 3. SC 接客ロールプレイングコンテスト中部大会　（11 月 10 日（水）～11 日（木）・imy 会議室） 出場者 83 名　（前年 118 名） ・ファッション・物販部門・・・・65 名（前年度 85 名） ・食品・飲食・サービス部門・・・18 名（前年度 33 名） 4. 支部総会（2022 年 3 月 29 日・コンベンションルーム AP 名古屋） (1) 支部総会 ・2021 年度中部支部収支決算予想

	・2022 年度協会活動基本方針 ・2022 年度中部支部活動計画(案) ・2022 年度中部支部収支予算(案) (2)研修会 ・第 1 講『SDGs は今や、社会実装のフェーズへ』 講師:サンメッセ㈱　取締役専務執行役員 経営企画室長サステナビリティ担当 サンメッセ総合研究所代表　田中 信康　氏 ・第 2 講『エシカルデザインで未来に希望を～リアル空間だからこそ伝えられること～』 講師:㈱船場　クライアントオフィサー エシカルデザインファウンダー　執行役員　加藤　麻希　氏 ・懇親会
近畿支部	1. 旧「SC研究会」と旧「単館SC交流会」の統合に関する会議 (1)事前意見交換会(4月5日:JR西日本アーバン開発㈱　本社会議室) (2)統合会議　(4月16日:㈱関西都市居住サービス　本社会議室) 2. 運営委員会 (1)第1回運営委員会(7月9日:㈱関西都市居住サービス　本社会議室) ・旧「SC 研究会」および旧「単館 SC 交流会」の統合について ・SC 研究会セミナー(研修会)について ・2021年度近畿支部活動スケジュール ・SC 接客ロールプレイングコンテスト近畿大会について ・SC 研究会セミナー(事務局会議(勉強会))について (2)第2回運営委員会(12月17日:㈱関西都市居住サービス　本社会議室) ・2021年度近畿支部総会およびSCフォーラムについて ・SC研究会の今後の活動について ・会員について 3. SC 研究会(事務局会議) (1)第1回 SC 研究会事務局会議(8月11日:オンライン開催) (2)第2回 SC 研究会事務局会議(10月28日:㈱関西都市居住サービス　本社会議室) (3)第3回 SC 研究会事務局会議(11月25日:㈱関西都市居住サービス　本社会議室) (4)第4回 SC 研究会事務局会議(2月24日:オンライン開催) 4. SC 研究会セミナー(研修会) (1)第1回パネルディスカッション(9月22日:JR西日本アーバン開発㈱本社会議室) テーマ:「コロナが突きつけた課題を搾り出し適正な対処を講じる」 ～そのための最善の策をみんなで考えていく～ コーディネーター　大阪商業大学　教授　加藤　司 氏 パネリスト　㈱きらく　守　美樹 氏 神戸地下街㈱　茨木 一郎 氏 ハッシープランニング　橋長 初代 氏 司 会　SC 研究会座長　山本 敬二 氏　※無観客開催、動画を11月公開 (2)第2回パネルディスカッション(1月20日:㈱関西都市居住サービス　本社会議室) テーマ:　アフターコロナ時代を如何に生き抜いていくのか ～ 今こそ必要な共生社会 その拠点がSCに ～ コーディネーター　大阪商業大学　教授　加藤　司 氏 パネリスト　㈱関西都市居住サービス 代表取締役社長 中瀬 弘実 氏 スペース・マネジメント・ノウハウ 的場 みな子 氏 ㈱船場　宗本 陽子 氏 司 会　SC 研究会座長　山本 敬二 氏 5. 支部総会(3月18日) ＊新型コロナウイルス感染予防対策のため、書面決議 6. SC フォーラム(3月18日) ＊新型コロナウイルス感染予防対策のため中止

	7. その他 2021年3月19日開催「SC フォーラム」を WEB にて再配信 テーマ:『SDGs で持続可能なショッピングセンターを目指す』 講 師: (一社)日本ショッピングセンター協会 理事 百瀬 則子 氏 配 信:8月11日～2022年3月末迄
中国・四国 支部	1. 第 1 回運営委員会 日 時:8 月 19 日(木)14:00～15:00 会 場:山陽 SC 開発㈱会議室 オンライン(ハイブリッド形式) (1)2021 年度 中国・四国支部活動全体スケジュール ・運営委員会(第 1 回、2 回、3 回)、研修会 ・支部総会、記念講演 ・SC接客ロールプレイングコンテスト中国・四国大会 (2)研修会、支部総会後の記念講演について SC接客ロールプレイングコンテスト中国・四国大会の運営について (3)入会促進のお願い 2. SC 接客ロールプレイングコンテスト中国・四国大会 ・日程 : 11 月 24 日(水)～25 日(木) ・会場 : 丸田産業会議室 ・競技者数 : 食品・飲食・サービス……15 名(2019 年度＝24 名) ファッション・物販……44 名(2019 年度＝62 名) 3. 第 2 回運営委員会 日 時:12 月 7 日(火)14:00～15:00 会 場:山陽 SC 開発㈱会議室 オンライン(ハイブリッド形式) ・2021 年度第 3 回運営委員会＆支部総会の開催について 4. 研修会(SC 経営強化セミナー) 日 時:12 月 7 日(火) 講演Ⅰ(15:30～16:00) 講演Ⅱ(16:15～17:30) 会 場:山陽 SC 開発㈱会議室 オンライン(ハイブリッド形式) 参加者:30 名(リアル 24 名 Zoom 6 名) ○講演Ⅰ(15:30～16:00) 『コロナ禍における大規模リニューアル』 さんすて岡山 1～3 期リニューアルとコロナ対応 講師:山陽 SC 開発㈱ 代表取締役社長 福嶋 圭 氏 ○講演Ⅱ(16:15～17:30) 『With/After コロナにおける災害対応』 ・防災・災害対応で SC が期待される役割とは ・SDGs を見据えた相互理解 講師:高知県立大学大学院 看護学研究科教授 神原 咲子 氏 5. 支部総会 日 時:2022 年 3 月 8 日(火)14:00～15:00 会 場:山陽 SC 開発㈱会議室 ・2021 年度 中国・四国支部収支決算予想 ・2022 年度 協会活動基本方針(案) ・2022 年度 中国・四国支部活動計画(案) ・2022 年度 中国・四国支部収支予算(案) 6. 研修会(春の研修会) 日 時:2022 年 3 月 8 日(火)15:20～16:20 会 場:山陽 SC 開発㈱ 会議室 『中国武漢市ロックダウンの中で』 講師:イオンモール㈱ 中四国事業部長 南 愼一郎 氏

九州・沖縄支部	1. 支部総会 ・2022 年 2 月 28 日(月) リモート会議 (1)2021 年度九州・沖縄支部収支決算予想 (2)2022 年度九州・沖縄支部活動計画(案) (3)2022 年度九州・沖縄支部収支予算(案) 2. 運営委員会 日時:2021 年 7 月 7 日(水) 14:00～15:30 場所:リモート会議 (1)2021 年度 九州・沖縄支部活動スケジュール (2)秋の研修会について (3)2021 年度 支部総会について (4)SC 接客ロールプレイングコンテスト九州・沖縄支部大会の運営について 3. SC 接客ロールプレイングコンテスト九州・沖縄大会 期日 2021 年 11 月 18 日(木)、19 日(金)　会場:天神チクモクビル 出場者:合計 50 名 ファッション・物販部門・・・39 名／食品・飲食・サービス部門・・・11 名 4. 講演会 日時:2022 年 2 月 28 日(月) 15:00～16:40 方法:オンライセミナー　参加人数:45 名(九州・沖縄支部会員) タイトル「福岡市のまちづくり ～制度・課題・再開発について～」 ファシリテーター　九州・沖縄支部支部長　仁後裕介氏(㈱JR 博多シティ　取締役) 第1単元(30 分):「都市部のまちづくりについて」 講演者:福岡市 住宅都市局 都心創生部 都心創生課　計画調整係長　定講慎一郎　氏 第2単元:天神地区ディベロッパーによる開発計画のプレゼンテーション(各社 30 分) ・西日本鉄道㈱ 「天神のまちづくりと福ビル街区建替プロジェクト」 講演者:西日本鉄道㈱ 常務執行役員　田川真司　氏 ・三菱地所㈱　「イムズ建替えプロジェクトほかについて」 講演者:三菱地所㈱ 九州支店　支店長　渡邉眞幸　氏

Ⅳ 委員会活動報告

1. 総務・会員委員会

1. 2021 年度　活動総括

総務・会員委員会では、主に次の項目について審議をした。

(1) 会員サービスの向上に努め、会員数 950 社を目途とすること
(2) 人材確保対策への取り組みの推進
(3) 2020 中期経営計画(2020～23 年度)の進捗状況の把握
(4) 支部、委員会、SC 経営士会の各事業の進捗状況の把握及び総合調整
(5) 2021 年度予実管理の徹底
(6) SC ビジネスミーティングの本格開催
(7) 日本 SC 大賞の在り方等の検討

2021 年度においては、総務・会員委員会で論点整理をし、改善すべき点の抽出を行う。これを受けて、検討委員会等を設置し、改善すべき点があればそれを年度内に取りまとめる。

(8) 50 周年記念事業の検討

【1】会員募集について

・2020 年度から継続して入会キャンペーンを実施。2021 年度は、テナント企業に限り年会費を半額とし、理事各位・各支部・専門委員会委員各位にも「会員紹介」を依頼した。その結果、18 社(第 1 種　1 社、第 2 種　8 社、賛助 9 社)にご入会いただいた。

＜キャンペーン内容＞

期間:2021 年 4 月 28 日(水)から 2022 年 3 月 31 日(木)

特典:・10,000 円～30,000 円の入会金を免除

・テナント企業(第 2 種)は、年会費(年間4万2千円～12万6千円)を半額

・WEB セミナー(通常 3 万円)へ 2 回無料招待

【2】SC ビジネスミーティング開催報告

今期、およそ延べ 420 名の接点を創出することができた。なお、1 回あたり参加者数は平均 28 名であった。

(敬称略)

開催日時	テーマ	登壇企業
第6回（5/25）	SCにおける地方物産催事展開の提案について	旭川商工会議所、㈱JTB
第7回（5/27）	省力化、無人化対応(コロナ感染予防、清掃、警備など)の提案について	日本信号㈱、オムロンソーシアルソリューションズ㈱、㈱ドライコーポレーション
第8回（6/23）	SCへの出店（新業態、ポップアップ含む）提案について	㈱花恋人、㈱ITP
第9回（6/29）	デジタルマーケティング／商業施設の最新GIS（地理情報システム）活用の提案について	㈱ゼンリンマーケティングソリューションズ、ジオマーケティング㈱
第10回（7/6）	固定資産税評価（家屋・償却資産）の適正化の提案について	㈱建物鑑定
第11回（7/27）	第2弾　SCへの出店（新業態、ポップアップ含む）提案について	㈱三城、㈱アトレスティル
第12回（7/29）	SC・テナントの正しい情報発信を一括管理の提案について	(一社)ジャパンショッピングツーリズム協会
第13回（8/25）	北海道 北見市の産品の地域応援消費販売会について	北見信用金庫、㈱ハギヤ
第14回（9/15）	SCにおけるAIの活用の提案について	㈱ギックス、ニューラルポケット㈱
第15回（9/22）	人流管理に関する提案について	㈱日経リサーチ、㈱構造計画研究所
第16回（10/19）	SCにおけるデジタル活用とポイント連携	HiTTO㈱、㈱トリニティ
第17回（11/9）	省力化につながるAI活用の提案	ソニーマーケティング㈱、㈱テレコムスクエア
第18回（12/14）	SCへの出店～新業態について	㈱大創産業、㈱デヨダ、ネイス㈱
第19回（2/8）	第4弾　SCへの出店～新業態について	㈱キリン堂、㈱アソビスキー
第20回（3/15）	ライブコマースの活用と運用のポイント	㈱Moffly、㈱パル

5

■会員の入退会数(2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日)

会員種別	2020 年度末	2021 年度				2021 年度末
		入会	退会	期末	増減	
第一種正会員	314	9	13	310	-4	310
第二種正会員	286	14	34	266	-20	266
賛助会員	329	36	31	334	5	334
合計	929	59	78	910	-19	910

【3】人材確保対策特別委員会／活動総括

2021 年度は協会活動基本方針の中で「ES・働き方改革の推進強化」を掲げ、人材確保がますます厳しくなると見込まれるなか、「ショッピングセンターにおけるES宣言・行動指針」に基づき、引き続き各般の施策を講じて、ESのさらなる向上など働き方改革への取り組み気運の醸成に努めることを示した。

併せて、活動の中心となる人材確保対策特別委員会においては、SCにおける働き方改革に資するSC運営のあり方等について、ディベロッパーとテナントの議論を深めていくこととした。

さて、当委員会では 2021 年度、静鉄プロパティマネジメントの川井会長が委員長に就任、上記方針に沿って活動した。

主な取り組みは次のとおり。

(1) 人材育成委員会との協業:「人手不足解消セミナー」(2/3)の実施

(2) 調査研究委員会から移管した「人材確保に関する定量調査」の実施

(3) 第 46 回日本SC全国大会 SCビジネスフェア2022「SCシンポジウム②」の企画、実施

上記のSCシンポジウム②では、福田副会長(アダストリア代表取締役会長)、椋本副会長(グルメ杵屋代表執行役社長)、川井委員長が、「ES革新がSCの人材確保を支える」と題してディスカッションを行った。

この中で、新静岡セノバの「営業時間フレックスタイム制度・パワーチャージ休暇制度」の取り組みを紹介しつつ、ディベロッパーとテナントが協調して取り組むべき課題の整理や共有化を図り、SCの持続的成長に向けて提言を行った(詳細については、月刊 SC JAPAN TODAY 3 月号に掲載)。

なお、各専門委員会においては 2021 年度、引き続き人材確保に関する取り組みを行っていただいた。
この場を借りて御礼申し上げます。

2. 公共政策・環境委員会

1. 2021 年度 活動総括

(1)総括

2021 年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大に収束が見えず、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に係る対応・取り組みが中心となった。

特に、年初の緊急事態宣言発出に始まり、夏には新型株であるデルタ株が猛威を振るったこともあり、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が断続的に発出され、大型商業施設の営業に規制がかかることが懸念されたため、官公庁や他団体の動向を適時適切に把握し、「営業活動の継続」に向けて国や地方自治体への要望活動を複数回に渡り実施した。また、緊急事態宣言等の発出や延長が複雑に繰り返されるなか、国や自治体からの情報を速やかに会員企業に提供することに努めた。

感染拡大防止に向けた国や地方自治体からの休業要請や営業時間短縮要請に対し業界として真摯に協力する一方、これらにより、SC を構成するディベロッパーとテナントの双方が非常に厳しい経営環境を強いられたこともあり、「2022 年度税制等改正要望」においては、「地域の日常生活に根差す SC に対する実態に即した支援」を求め、「固定資産税等の負担軽減措置」および「災害対策に対する支援」を最重要事項として要望書を取りまとめた。また、要望書の提出にあたっては昨年度からスタートさせた国土交通省幹部との意見交換会に加え、今年度は経済産業省幹部との意見交換も行い、SC 業界の現況を伝えるとともに、直接要望書の提出を行なった。さらに、国による税制等検討の状況に応じ、関係議員への要望も実施した。

他方で、コロナ関連以外にも委員会の基礎的活動として、外部委員会への参加を始めとする官公庁等との連携による情報収集、調整・要望等を行うとともに、会員へのタイムリーかつ有益な情報提供に努めた。

その他、環境問題の一環として「低炭素社会実行計画」のフォローアップ調査を実施・公表したほか、社会課題に関する取り組みの一環として、プラスチック資源循環促進法および改正電子帳簿保存法に関する説明会(経済産業省および財務省担当者による説明)を開催し、法に対する会員企業の周知・理解促進を図った。

(2)事業報告

1)新型コロナウイルス感染症に係る公共政策の取り組み

・国や地方自治体等と連携した情報収集と、会員への迅速かつ有益な情報提供。
・国等に対し、感染拡大や緊急事態宣言発出に伴う SC 業界の実情を踏まえた「営業継続」と「休業が要請された際の実態に即した支援」に関する要望を提出。
・「小売業の店舗における新型コロナウイルス感染症感染拡大予防ガイドライン」を改訂。

2)2022 年度税制等改正要望

コロナ下で傷んだ企業経営へのさらなる打撃とならないよう、

○2021 年度に実施された商業地に係る固定資産税課税標準額の据置措置の延長等「固定資産税の負担軽減措置」
○地域の社会インフラ・防災拠点としての整備を進めるための「災害対策に関する支援」に重点を置いた要望を実施。要望に際しては、各政策を所管する国土交通省および経済産業省との意見交換会を行ったほか、関係議員へ直接要望した。

要望の結果として、

・固定資産税について、評価替の結果として課税額が上昇する土地における課税標準額の上乗せを、本来評価額の「5.0%」のところ「2.5%」とする、激変緩和措置が採られた。

3)公共政策に関する情報収集と各種要望・周知活動

外部委員会への参加や官公庁等との連携による情報収集等と、会員への情報提供を行った。

4)社会課題への取り組み

・プラスチック資源循環促進法および改正電子帳簿保存法に関する説明会を開催した。
・低炭素社会実行計画のフォローアップ調査を実施した。

3. 人材育成委員会

1. 2021 年度 活動総括

(1)総括

2021 年度の基本方針のもと、セミナーや SC アカデミー等をリアル開催と WEB 展開で実施した。

■セミナー

2021 年度は、39 本を開催。延べ参加者数は 977 名と、目標 1,139 名に対して▲162 名、集客の予算比は 85.8%(2020 年度比 101.3%・2019 年度比 64.9%)。

一昨年比では苦戦が続くなかで出色のセミナーとしては、再配信を繰り返して一昨年の 92 名を上回る 96 名に到達したフレッシャーズセミナー、一昨年の 50 名や昨年の 59 名を上回る 70 名を集めた秋晴れトップフォーラムがある。

WEB セミナーの再配信実施は、会員の受講機会確保や利便性向上に繋がる取り組みであるが、2020 年度の 3 本から 6 本へと増加しているものの、本数はまだまだ少ない。

■海外研修

当初、3 月にアジアツアーの催行を計画したが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止とした。

■SC アカデミー

第 15 期の受講生は 35 名。今年度はスケジュールどおりに「合宿研修」、「SC 総論Ⅰ」、「SC 総論Ⅱ」、「SC 経営実践論」「特別講義」の各カリキュラムを進行させることができた。協会のオンライン対応への評価は総じて高いが、依然としてオフラインでの交流を求める意見も根強い。

第 15 期卒業論文の最終審査は 3 月 23 日に実施した。

■冠講座

SC 経営士会との連携のもと、年間 2 校を実施した。

前期…流通科学大学 (4 月 12 日～7 月 19 日)

後期…日本大学(9 月 16 日～1 月 20 日)

■SC 経営士試験

第 30 期 SC 経営士試験は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、例年よりも約 2 か月後ろ倒しとしたスケジュールとなった。受験者数は前期(第 29 期)から 21 名少ない 118 名が一次試験を受験し、最終合格者数は前期から 17 名少ない 31 名となった。

今期試験の特徴としては、一次試験は通信教育講座の優秀賞を取得して受験科目の免除を受けた受験者が多く合格した(一次試験合格者33名中13名が受験科目免除)。

また、二次試験は31名中15名が女性の受験者で、今後さらなる女性の活躍が期待される結果となった。

新型コロナウイルス感染拡大防止策として、前期(第 29 期)と同様に、一次試験はフィジカルディスタンスを保った 1 名掛けのレイアウトにし、二次試験の口頭試問は、リモートに切り替えて実施した。

(2)事業報告

①セミナー

1) 2021年度に開催した39本の予算比(参加者数/予定参加者数)85.8%
(2020年度比101.3%・2019年度比64.9%)
2) 同一セミナーのリアル・WEB併催時のWEB受講者比率68.2%(昨年度63.8%)
3) 一昨年比100%以上は「フレッシャーズ」「SC運営の基礎知識を学ぶ 第1回」「SC運営の基礎知識を学ぶ 第5回」「海外SCおよび流通(中国編)」「SC視察・交流(光が丘IMA)」「秋晴れトップフォーラム」の6本
4) 再配信の実施は「フレッシャーズ」、「SDGs」、「データマーケティング」、「まちづくり・地域活性化」「プロモーション」「リーシング」の6本
5) 過年度アーカイブ活用は「プロモーション」の1本
6) 大阪開催をWEBにて代替は「SC法律」「SC基本管理運営」の2本

No.	セミナー名	開催日	開催地	階層	参加者数(a)	予定参加者数(b)	比較増減(a)－(b)	予算比(a)/(b)	(a)のうちWEB受講者数	WEB受講者比率
1	SC基本管理運営セミナー	4/20・21	東京・WEB	A	51	35	16	145.7%	37	72.5%
	4月	*1本*			*51*	*35*	*16*	*145.7%*		
2	SC出店契約書作成セミナー	5/19	東京・WEB	A	23	31	-8	74.2%	14	60.9%
3	フレッシャーズセミナー	5/26	東京・WEB	A	96	50	46	192.0%	92	95.8%
	5月	*2本*			*119*	*81*	*38*	*146.9%*		
4	SC営業管理担当者ステップアップセミナー	6/10・11	東京・WEB	B	14	30	-16	46.7%	9	64.3%
5	SC事業戦略セミナー	6/23	東京・WEB	D	23	27	-4	85.2%	16	69.6%
6	テナント向け法律セミナー	6/25	東京	A	7	19	-12	36.8%		
	6月	*3本*			*44*	*76*	*-32*	*57.9%*		
7	SC法律セミナー	7/15	東京・WEB	C	16	34	-18	47.1%	8	50.0%
8	テナントミックスリーシングセミナー	7/21	東京・WEB	C	17	23	-6	73.9%	8	47.1%
	7月	*2本*			*33*	*57*	*-24*	*57.9%*		
9	SC運営の基礎知識を学ぶ 第1回	8/17	東京・WEB	A	40	34	6	117.6%	30	75.0%
10	SC運営の基礎知識を学ぶ 第2回	8/24	東京・WEB	A	28	34	-6	82.4%	21	75.0%
11	SC運営の基礎知識を学ぶ 第3回	8/31	東京・WEB	A	27	27	0	100.0%	23	85.2%
	8月	*3本*			*95*	*95*	*0*	*100.0%*		
12	ニューテクノロジー活用セミナー	9/1～8	WEB	C	4	23	-19	17.4%		
13	SC運営の基礎知識を学ぶ 第4回	9/7	東京・WEB	A	30	27	3	111.1%	25	83.3%
14	新視点のマーケティングセミナー	9/10	東京・WEB	D	13	27	-14	48.1%	10	76.9%
15	SC運営の基礎知識を学ぶ 第5回	9/14	東京・WEB	A	29	27	2	107.4%	19	65.5%
16	海外SCおよび流通セミナー（中国編）	9/21	東京・WEB	C	38	20	18	190.0%	23	60.5%
17	SC販促イベントセミナー	9/21～28	WEB	C	14	38	-24	36.8%		
	9月	*6本*			*128*	*162*	*-34*	*79.0%*		
18	SDGsセミナー	10/12	東京・WEB	C	32	23	9	139.1%	27	84.4%
19	SCクレーム&カスタマーハラスメントセミナー	10/20	東京・WEB	C	16	19	-3	84.2%	7	43.8%
20	SC法律セミナー	10/22～29	WEB	C	9	15	-6	60.0%		
21	SC視察・交流セミナー（光が丘IMA）	10/29	東京	C	15	23	-8	65.2%		
	10月	*4本*			*72*	*80*	*-8*	*90.0%*		
22	秋晴れトップフォーラム	11/11	東京	E	70	40	30	175.0%		
23	データマーケティングセミナー	11/16～24	WEB	C	3	30	-27	10.0%		
24	SC基本開発セミナー	11/18・19	東京・WEB	A	7	34	-27	20.6%	*4*	57.1%
	11月	*3本*			*80*	*104*	*-24*	*76.9%*		
25	新時代対応SC戦略(出店・リニューアル)セミナー	12/1	東京・WEB	C	25	31	-6	80.6%	10	40.0%
26	SC施設管理セミナー	12/3	東京・WEB	C	43	31	12	138.7%	19	44.2%
27	まちづくり・地域活性化	12/7	東京・WEB	C	24	27	-3	88.9%	14	58.3%
28	海外SCおよび流通セミナー（米国編）	12/8	WEB LIVE	C	9	35	-26	25.7%		
	12月	*4本*			*101*	*124*	*-23*	*81.5%*		
29	プロモーション担当者のステップアップセミナー	1/13～25	WEB	B	14	30	-16	46.7%		
30	リーシング担当者のステップアップセミナー	1/18・19	東京・WEB	B	21	30	-9	70.0%	14	66.7%
31	SC基本管理運営セミナー	1/19～31	WEB	A	17	30	-13	56.7%		
32	SC契約実務対策セミナー	1/21	東京・WEB	C	11	31	-20	35.5%	10	90.9%
	1月	*4本*			*63*	*121*	*-58*	*52.1%*		
33	危機管理対策セミナー（食の安全管理）	2/2	東京・WEB	C	15	23	-8	65.2%	10	66.7%
34	人手不足問題対策セミナー	2/3	WEB	C	12	23	-11	52.2%		
35	SC危機管理対策セミナー	2/15	東京・WEB	C	7	23	-16	30.4%	2	28.6%
36	飲食・食品ゾーン活性化セミナー	2/16	東京・WEB	C	31	27	4	114.8%	18	58.1%
	2月	*4本*			*65*	*96*	*-31*	*67.7%*		
37	早春スペシャルセミナー	3/4	東京・WEB	E	55	50	5	110.0%	27	49.1%
38	SCテナント従業員教育セミナー	3/8	東京・WEB	C	16	23	-7	69.6%	13	81.3%
39	最新米国SC情報セミナー	3/22	WEB LIVE	C	55	35	20	157.1%		
	3月	*3本*			*126*	*108*	*18*	*116.7%*		
	合計	*39本*			*977*	*1,139*	*-162*	*85.8%*		

※同一セミナーのリアル・WEB併催時の受講者比率は、31.8%：68.2%

＜階層＞　A：基本編　B：ステップアップ編　C：事例中心　D：中堅向け　E：経営者向け

年度	延べ参加者数（a）	予定参加者数（b）	比較増減（a-b）	予算比（a/b）
2021年度	977	1,139	-162	85.8%
2020年度	964	1,500	-536	64.3%
2019年度	1,505	1,651	-146	91.2%

②海外研修

（単位：人）

年度	開催数	参加者数		
		実績(a)	目標(b)	(a) - (b)
2021 年度	**0 回**	**0**	**15(1 本)**	**-15**
2020 年度	0 回	0	85(4 本)	-85
2019 年度	3 回	66	85	-19

※2020年度から、新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止している。

③通信教育:申込人数　（単位:人）

講座名	**2021年度**			2020年度		2019年度	
	実績 (a)	目標 (b)	比較増減 (a)－(b)	実績 (c)	前年度比較増減 (a)－(c)	実績 (d)	一昨年度比較増減 (a)－(d)
SC開発講座	**188**	**178**	**10**	277	-89	125	63
SC管理運営講座	**582**	**513**	**69**	858	-276	477	105
合計	**770**	**691**	**79**	1,135	-365	602	168

④SCテナントスタッフハンドブック　（単位:冊）

	2021年度			2020年度		2019年度	
	実績 (a)	目標(b)	比較増減 (a)－(b)	実績(c)	前年度差 (a)－(c)	実績 (d)	一昨年度比較増減 (a)－(d)
SCテナントスタッフハンドブック	**193**	**210**	**-17**	210	-17	299	-106

⑤SCマネジメントブック　（単位:冊）

	2021年度			2020年度		2019年度	
	実績 (a)	目標(b)	比較増減 (a)－(b)	実績(c)	前年度差 (a)－(c)	実績 (d)	一昨年度比較増減 (a)－(d)
SCマネジメントブック	**127**	**154**	**-27**	123	4	180	-53

⑥サポート関連　（単位:件）

	2021年度			2020年度		2019年度	
	実績 (a)	目標(b)	比較増減 (a)－(b)	実績(c)	前年度差 (a)－(c)	実績 (d)	一昨年度比較増減 (a)－(d)
サポート関連	**4**	**16**	**-12**	3	1	28	-24

⑦SCアカデミー

第15期 35名

（卒業論文審査過程）

提出締切　2月 3日(木)

一次審査　2月14日(月)～17日(木)　35編 ⇒ 12編

二次審査　3月 2日(水)　12編 ⇒ 6編

最終審査　3月23日(水)　6編より最優秀賞、優秀賞、佳作を決定

＊最優秀賞 (株)新都市ライフホールディングス 本橋 宏一 氏

⑧SC経営士更新講習

SC経営士登録更新者 91名

4. 情報委員会

1. 2021年度 活動総括

(1) 総括

2021 年度は、基幹事業の月刊誌では、世の中の大きなトレンドである「DX」や「SDGs」、「アフターコロナ」を見据えた特集企画を組み、先進事例や好事例の紹介など、会員のビジネスに活かしていただく情報を提供した。また、会員の事業に役立つ情報発信基盤を整備すべく、当協会ホームページのリニューアルに着手した。

(2) 事業報告

1) 月刊誌

①特集テーマ

4 月号	『これだけはおさえておきたい SC ビジネスの基礎知識』
5 月号	『地域とともに進化する SC』
6 月号	『公民連携を使いこなせ！これからのまちづくりデザイン論』
7･8 月合併号	『ニューノーマル時代の〝真〟業態開発／地域と時代に対応したミクストユース開発』
9 月号	『東日本大震災から 10 年～それぞれの思い、コロナ以降の災害対策～』
10 月号	『接客のニュースタンダード 多様化する顧客接点 変わらない接客の本質』
11 月号	『EC と融合する SC』
12 月号	『消費で加速する SDGs』
1･2 月合併号	『これからの SC 公式アプリ／攻めと工夫の SC 販促イベント』
3 月号	『第 46 回日本ショッピングセンター全国大会』

2) 広報活動

①協会ホームページリニューアル

○重点取組事項

・ユーザー(会員・一般)の課題解決につながる
・協会からユーザー(会員・一般)に周知したい情報がしっかり伝わる
・協会会員をより知ってもらう
・協会との継続的な関りを保てる
・運用しやすく、品質を保てる

○新ホームページ公開･･･2022 年 4 月

②定例記者懇談会

○第 1 回(夏) 2021 年 7 月 20 日(火)

・場所:ホテルメトロポリタンエドモント
・出席者 マスコミ 38 名(30 社)
・発表内容 ・2021 年(上期)SC 動向
・SC の役割～社会インフラとして～
(SC の果たすべき役割､コロナ下における地域貢献､おける SC 協会の取り組み)
・日本 SC 協会の活動内容(SC 協会とは、SC 協会の主な活動) ほか

○第 2 回(冬) 2021 年 12 月 23 日(木)

・場所:ホテルメトロポリタンエドモント
・出席者 マスコミ 49 名(37 社)
・発表内容 ・2022 年頭所感
・2021 年 SC 動向 統計情報
・2021 年 SC 動向 主な取り組み
(外出自粛と密空間の回避、ワークスタイルの変容、ウェルネス志向の加速)
・2021 年協会活動
・第 46 回日本ショッピングセンター全国大会 ほか

※新型コロナウイルス感染防止の観点から中止していた交流会を、第 2 回では感染対策を徹底し

開催した。

③ニュースリリース配信

・販売統計（3 月～2 月、2021-22 年年末年始）	12 回
・第 46 回日本ショッピングセンター全国大会	2 回
・賃料・共益費 2021	1 回
・定例記者懇談会開催	2 回
・ロールプレイングコンテスト支部大会延期	2 回
・感染防止策の更なる強化	1 回
・緊急事態宣言に関する要望等	5 回
・2021 年度正副会長・専務理事	1 回
・SC 白書 2021	1 回
	計 27 回

④メルマガ配信

毎月月末に配信。主な内容は協会活動、セミナー募集等。配信数は約 5300。

＊2021 年 4 月～2022 年 3 月

その他、臨時号として月中（15 日）に 2022 年 1 月・3 月（セミナーご案内）、2022 年 2 月（支部開催イベント）を配信した。

⑤取材対応

・4月5日：月刊不動産流通（不動産流通研究所） 清野会長インタビュー取材
協会設立の経緯、これまでの歩み、活動内容、時代の変化とSCの変化・役割 など

・9月2日：月刊ヘルス＆ビジネスリテイル（㈱ヘルスビジネスメディア）
清野会長と（一財）日本ヘルスケア協会 今西会長 対談インタビュー

・緊急事態宣言に関する取材対応

4月20日：NHK電話取材（対応者：髙田部長）
「ニュース7」（19時～放映）にて、百貨店協会村田会長インタビューとともに、
SC協会の要望書（内閣官房コロナ室・大阪府知事・東京都知事宛）要旨について
紹介された。

4月21日：・内閣官房長官への面会に伴い、官邸で清野会長がぶら下がり取材を受けた。
・TBS「あさチャン！」インタビュー取材（19時～ 対応者：清野会長）
・テレビ朝日「ワイド！スクランブル」電話取材（20時15分～ 対応者：古屋専務）
・日本テレビ「スッキリ」Zoom取材（20時30分～ 対応者：原田事務局長）
※放映はいずれも翌4月22日
・その他、日経新聞、朝日新聞（4月22日朝刊3面に掲載）、産経新聞、共同通信、
時事通信から電話取材有（対応者：髙田部長）

5. 調査研究委員会

1. 2021 年度 活動総括

(1) 総括

2021 年度は、前年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、SC売上は 2020 年と比べてマイナス幅は縮まったものの厳しい結果となった。一方、コロナをきっかけとして「新しい生活様式」が徐々に浸透してきているなか、ECの伸長などSCは大きな変革期に差し掛かっている。

そのようななか、SCディベロッパー企業各社のご協力により、SCの売上や賃料、開発等の動向についてのコロナの影響も考慮した調査を実施した。『SC白書 2021』には、新型コロナウイルス対応やDXに関するトピックスも盛り込んだ。また、2020 年の国勢調査を踏まえて、5 年に 1 度の立地区分の定期更新を実施した。SC業界の認知度向上を図り、調査結果について会員、マスメディアへの周知拡大も進めた。

(2) 事業報告

1) 各種定例調査の実施

① SC販売統計調査の実施

販売統計調査は、月次、四半期、上半期、下半期、年間調査を実施するとともに、年末年始の販売動向調査を着実に実施した。

月次調査については、4 月度調査分以降、新型コロナウイルスの売上への影響を見るため、コロナ前の 2019 年(前々年)との比較データも参考資料として毎月発表した。また、7 月度調査結果(8 月発表)より、報告書をより見やすいレイアウトに変更した。従来は「全体概況」にすべてを記載していたところを、「全体概況」と項目別「立地別」「地域別」「業種別」と分けて記載するようにした。

② 『SC賃料・共益費実態調査 2021』の発表

契約形態別(個別徴収、総合賃料・賃料名目一本化)にて、月坪賃料、月坪共益費、総合賃料の調査を実施し、1 月 14 日に協会HP(会員ページ)にて発表した。会員ディベロッパー企業各社のご協力により、サンプル数は 309SCとなった。

なお、今回の調査対象となった 2020 年はコロナの影響により売上高が大きく減少したことから、歩合賃料を採用するテナントの賃料の大幅減が見込まれたため、売上高に大きな影響を与えた臨時の休館日数も調査項目に加え、補足情報として結果に付与した。

また、本調査は「都市規模」、「立地」、「SC規模」、「ビル形態」等の区分ごとに集計し統計表を作成してきたが、賃料(共益費)額の空欄箇所が増加していたため、「都市規模」を 7 区分から 3 区分へ、「SC規模」を 8 区分から 3 区分へ集約することで空欄箇所を減少させ、統計利用者の利便性向上を図った。

③ 『SC白書 2021』の発刊、SC開発動向等データの発表

国内外のSC業界の動向や各種基礎データを掲載した『SC白書 2021～「新常態」と地域調和型SCの萌芽～』を第 49 回定期総会時(6 月 2 日)に発刊した。毎年継続して掲載しているコンテンツのほか、SC経営士会でまとめた新型コロナウイルスに関する報告書や、調査研究委員会が 4 月に協会HP会員ページで発表した海外のデジタルトランスフォーメーションに関する調査研究レポートからの抜粋も盛り込

んだ。

また、会員ページに「SCオープン（月次）」「計画情報（月次）」「SC基礎データ（年１回・6 月）」を、一般ページに「大店立地法新設届出情報（月次）」を掲載した。

④ 立地区分の更新

現在の立地区分を2016年に設定してから5年が経過することを受け、2020年国勢調査の人口データ、公示地価、路線価をもとに、各市町村の立地区分の定期更新を実施した。

なお、2016年度改定の「SC立地区分の考え方」では、複数地域を中心地域と設定できるのは「大都市」に限られていたが、立地区分更新の作業を進めていくなかで、「大都市」以外にも複数地域を中心地域とすることが望ましいと考えられる都市が複数見られたため、考え方の見直しを行った。

2）海外SC情報の発信

協会HP会員ページに、海外のデジタルトランスフォーメーションに関する調査研究レポート『海外の事例から学ぶSCにおけるDXの方向性』を掲載した。本レポートの抜粋は、『SC白書 2021』にも掲載し、協会会員以外の方にもご覧いただけるようにした。

また、『SC白書 2021』にアメリカ、ヨーロッパ、中国の情報を掲載した。

3）調査結果の周知拡大

SC業界動向を広く周知するため、『SC白書 2021』冊子版の発行とともにデジタル版を協会HP（一般ページ）で公開した。閲覧者数は 3 月末時点で 7,435UU となった。

また、夏（7 月）と冬（12 月）の定例記者懇談会では、2021 年のSC業界動向について発表し、各種新聞、雑誌に関連記事が掲載された。

6. 全国大会実行委員会

1. 2021 年度（第 46 回大会） 活動総括

(1) 概要について

○会期:2022 年 1 月 26 日(水)～1 月 28 日(金)

○アーカイブ公開期間 2022 年 2 月 7 日(月)～28 日(月)

○併催イベント『第 2 回ショップスタッフが作った動画集 』

2022 年 1 月 24 日(月)～28 日(金) ＊アーカイブ公開期間も視聴可能

○出展者 合計 142 社 366 小間

ゾーン	出展者数	小間数
ディベロッパー	39	141
テナント（発見マルシェ 9 社含む）	35	79
サポート	41	88
DX・テクノロジー	27	58
合　計	142	366

○開催3日間の来場者数は延べ21,330名（BF2021オンライン23,666名、BF2020 53,400名）。

○事前登録数は9,893名（BF2021オンライン10,341名）、来場履歴（QRコード読取）は開催3日間で7,823名。

○特別協賛は、JLL モールマネジメント㈱ ㈱テレコムスクエア オムロンソーシアルソリューションズ㈱ ㈱JR 東日本クロスステーションの 4 社。各社の企業ロゴを公式Webサイトのトップページや、会場マップ、新聞広告、プレゼンテーション会場に掲載した。また、テレコムスクエア社とオムロンソーシアルソリューションズ社は、展示会場の共用部でデモンストレーションを行った。

○会場内中央に交流広場（600 ㎡）を設置し、発見マルシェを展開した。装飾ではSDGsを意識し、再生可能な間伐材や簡易なデザインを採用した。

(2) 発見マルシェについて

○キッチンカーなどの食関連、防災関連のコンサルなどが出展した。9社20小間。

(3) シンポジウム・セミナー、無料セミナーについて

○シンポジウム・セミナー

26日/3講座:受講者数は497名（webライブ受講、アーカイブ受講含む）

・基調講演①:㈱ディー・エヌ・エー 代表取締役会長 南場 智子氏

・基調講演②:大阪大学 感染症総合教育研究拠点 特任教授 大竹 文雄氏

・SCシンポジウム①:三井不動産㈱ 執行役員商業施設本部副本部長若林 瑞穂氏
㈱バンダイナムコアミューズメント 代表取締役社長 川﨑 寛氏、
日本経済新聞社 編集委員兼論説委員 中村 直文氏
JLLモールマネジメント㈱ 取締役会長 大津 武氏

27日/4講座:受講者数379名(webライブ受講、アーカイブ受講含む)

・記念講演①:ソニーグループ㈱　シニアアドバイザー　平井一夫氏

・流通展望:㈱西友 社長兼 最高経営責任者(CEO)　㈱リテイルサイエンスファウンダー
大久保 恒夫氏

・記念講演②:㈱サンリオエンターテイメント　代表取締役社長　小巻 亜矢氏

・SCシンポジウム②:㈱アダストリア　代表取締役会長　福田 三千男氏
グルメ杵屋㈱　取締役 兼　代表執行役社長　椋本 充士氏
静鉄プロパティマネジメント㈱　取締役会長　川井 敏行氏

○無料セミナー　参加者1,404名(3,926名)　※( )内はBF2020の実績

・出展者プレゼンテーション:21講座(33講座)

・主催者企画:7講座(9講座)/協賛セミナー:2講座

(4)併催イベント「第 2 回ショップスタッフが作った動画集」

SC 協会会員限定企画の併催イベントとして「ショップスタッフが作った動画集」を募集したところ、37 動画の投稿があった。全国大会実行委員会に選考会を設置し、とくに印象的な作品を選考した。

表彰式は別途開催予定。

＜ショート動画(15 秒～1 分未満)＞

店舗名	島村楽器 新宿PePe店
PRコメント	人気のカリンバの即興演奏です。
YouTube URL	https://www.youtube.com/watch?v=sbrFRFPLKCU
店舗名	微風南山atre bpt ROOM
PRコメント	大人気バッグ入荷をコミカルにお伝えします。
YouTube URL	https://www.youtube.com/watch?v=NXcAw991_Jw

＜スタンダード動画(1 分～10 分未満)＞

店舗名	阪急三番街 牛たんとお酒　もりの屋
PRコメント	自慢の牛たんと美味しいお料理をどうぞ！
YouTube URL	https://www.youtube.com/watch?v=xqd5hCtea-o
店舗名	有隣堂テラスモール湘南店
PRコメント	大人も楽しめる知育玩具をたっぷりご紹介。
YouTube URL	https://www.youtube.com/watch?v=-gVJfd26g60
店舗名	RODEOCROWNS WIDEBOWLゆめタウン廿日市店
PRコメント	この動画で元気になって頂けたら嬉しいです。
YouTube URL	https://www.youtube.com/watch?v=_2liYpfT3vw
店舗名	RODEOCROWNS WIDEBOWLイオンモール白山店
PRコメント	アパレル店長の1日動画です！
YouTube URL	https://www.youtube.com/watch?v=wEkoMDi66os

7. 接客ロールプレイングコンテスト実行委員会

1. 2021 年度　活動総括

(1) 総括

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、2021 年度第 27 回 SC 接客ロールプレイングコンテスト支部大会は最小人数の応援団(3 人)のみ入室許可し、一般客は入れない形での無観客開催とした。全国大会は感染対策を徹底した上で、有観客による通常開催で行った。

1) SC 接客ロールプレイングコンテスト

2021 年 10 月 4 日の東京大会を皮切りに、全国 7 支部 8 地区において開催した支部大会には、329 のショッピングセンター(前回:531)から 676 名の競技者(前回:1,107 名)が参加。28 名の支部代表者(1 名欠席)が、1 月 28 日(金)開催の全国大会に集結した。

全国大会の大賞「SC 接客日本一」には三井アウトレットパーク木更津」ジンズの伊藤二三さんが選ばれた。伊藤さんは、「もう一度この人に接客してほしい」と思わせるような人間力が審査員に評価され、大賞「SC 接客日本一」、経済産業大臣賞に選出された。

2) SC 接客マイスター検定制度

SC 接客マイスター試験は、ロールプレイングコンテスト支部大会申込者 676 名中、229 名の申込があった。実技試験の結果、228 名が合格し、実技試験合格者を対象にした Web 筆記試験後の最終合格は、1 級 22 名、2 級 75 名、3 級 85 名の合計 182 名となった(再受験合格者 2 名を含む。)。

【コロナ感染対策】

①感染防止運営ガイドライン

※感染症対策専門家に確認済み

SC接客ロールプレイングコンテスト感染防止運営のガイドライン

基本的には緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が発令された状況下においては政府機関、自治体の要請に従います。
それを前提に、開催する場合には下記、感染防止策を徹底してコンテストを実施します。

「3密」回避

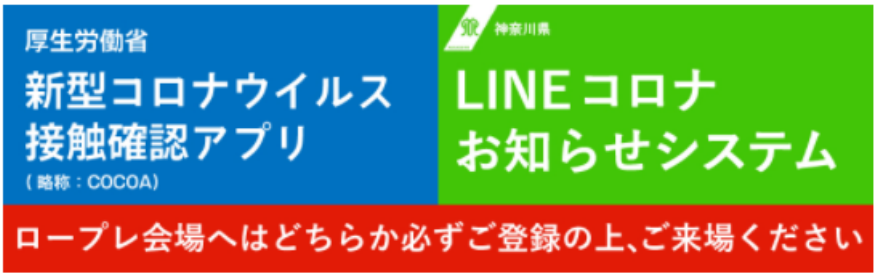
「密閉」回避
○休憩時は窓・出入口を適宜開放、送風機を導入し、会場の換気を図る。二酸化炭素濃度測定器で計測して、必要換気量を保ちます。 ※会場の換気システム要確認 ○対面で食事や会話をしないようにする。
「密集」回避
○競技者ごとに関係者及び応援団(3名)の方は総入れ替えを行う。 ○一般客は入れない形での無観客開催とする。 ○会場の人数は、収容定員の50%以下とする。
「密接」回避
○必ず不織布マスクを着用する。 ○お客様役は不織布マスクに加えて、フェイスシールド、手袋を着用する。 ○審査員席・レジ前等、必要に応じてアクリル板を設置する。 ○競技者控えには、パーテーションを設置する。

消毒・検温・不織布マスクの徹底

運営側
□感染防止のチェックポイント:感染防止対策のチェックポイントを作成する。 □個人情報取得:感染者が確認された場合を考慮し、来場者（競技者を含めたグループ代表者）・関係者の氏名・連絡先（名刺など）を把握する。 □スタッフ・審査員の衛生:不織布マスク・手袋の着用、手洗いや手指消毒、検温の徹底を図る。 □ゴミの廃棄:ゴミを回収するスタッフは、不織布マスクや手袋を着用する。不織布マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗う。 □隔離スペース:イベント開催中に来場者・スタッフ・関係者が体調不良を訴え感染が疑われる際は、医療機関を受診いただきます。 念のため隔離スペース（パーテーションで仕切り）も準備しています。
ご来場される方（審査員・競技者含む）
□不織布マスクの着用:来場者には、不織布マスク着用を依頼する。 □体温検査:入場時に来場者の体温検査を実施。37.5度以上の人は入場を断わることを検討する。 □連絡先登録:入口で代表の方に名刺をいただき、個人情報を保持する。 □感染が発生した場合は、感染経路特定のため、必要情報を政府機関・自治体の要請により開示する。 □手の消毒:非接触型アルコール消毒器を設置する。 □マナー喚起:咳エチケットや顔に触れないようにするなど、マナーについて、スタッフより注意喚起を行う。
運営スタッフの体調管理
□スタッフ・審査員は来場前に、体温測定、自覚症状の確認を行う。 □当日朝の体温測定を実施。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養。家に帰ったらまず手や顔を洗う。 □手洗いは、30秒程度かけて水と石けんなどで丁寧に洗う（手指消毒薬の使用も可）。
競技会場の衛生管理
□他人と共用する物品や手が頻回に触れる箇所を工夫して、最低限にする。 □特に、高頻度で手が接触する場所=ハンドポイントに注意する。 □定期的（競技者毎）に除菌・洗浄を実施する。

②追跡アプリ（全国大会で実施）

【当協会 Web サイトでのご案内】



ご来場の皆様へ、-衛生対策ご協力のお願い-
スマートフォンへの事前登録をお願いします。

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対応として、ロープレ全国大会会場への入場には、新型コロナウイルス対応追跡アプリの利用を必須とさせて頂きます。当日、会場出入り口付近での混雑を緩和する為、事前にアプリのインストール/ご登録をお願いいたします。

(2) 事業報告

1) SC 接客ロールプレイングコンテスト

①支部大会

地区	開催日程	会場
北海道	10 月 15 日(金)	ＴＫＰ札幌ビジネスセンター赤れんが前
東北	10 月 27 日(水)	ホテルメトロポリタン仙台
関東・甲信越	12 月 6 日(月)～11 日(土)	日中友好会館
東京	10 月 4 日(月)～8 日(金)	ムーブホール(ムーブ町屋)
中部	11 月 10 日(水)・11 日(木)	imy 会議室
近畿	10 月 18 日(月)～21 日(木)	天満研修センター
中国・四国	11 月 24 日(水)・25 日(木)	丸田産業会議室
九州・沖縄	11 月 18 日(木)・19 日(金)	天神チクモクビル

②全国大会受賞者一覧

(敬称略)

賞		氏名	SC 名	店名	支部
大賞・経済産業大臣賞		伊藤　二三	三井アウトレットパーク木更津	ジンズ	関東・甲信越
食品・飲食・サービス部門	優勝	傍島　李沙	タカシマヤゲートタワーモール	タリーズコーヒー	中部
	準優勝	長谷川　絵理	小田急本厚木ミロード	赤坂柿山	関東・甲信越
ファッション・物販部門	優勝	引屋敷　未知子	エスパル仙台	ファンケル	東北
	準優勝	佐藤　和恵	佐野プレミアム・アウトレット	シップス	関東・甲信越
審査員長賞		周　里奈	ビーンズ阿佐ヶ谷	カレー専門店日乃屋	東京

※上記受賞者以外のすべての全国大会出場者は、「優秀賞」受賞。

③協賛金 86 口　4,300 千円(予算:100 口　5,000 千円)

2) SC 接客マイスター

SC接客マイスター試験　2021結果

2021年度（ロールプレイングコンテスト申込者676名）　（人）

	1級	2級	3級	不合格	合計
受験申込者	35	86	107	1	229
筆記試験受験者	23	85	103		211
最終合格者①	22	75	85		182

（参考）

【2015年度】（ロールプレイングコンテスト申込者1,013名）　（人）

	1級	2級	3級	不合格	合計
2015年度合格者②	73	75	135		283

【2016年度】（ロールプレイングコンテスト申込者1,012名）　（人）

	1級	2級	3級	不合格	合計
2016年度合格者③	44	50	208		302

【2017年度】（ロールプレイングコンテスト申込者1,056名）　（人）

	1級	2級	3級	不合格	合計
2017年度合格者④	35	24	217		276

【2018年度】（ロールプレイングコンテスト申込者1,075名）　（人）

	1級	2級	3級	不合格	合計
2018年度合格者⑤	36	40	209		285

【2019年度】（ロールプレイングコンテスト申込者1,107名）　（人）

	1級	2級	3級	不合格	合計
2019年度合格者⑥	27	105	138		270

【2015～2021年度】　（人）

2015～21年度合格者①～⑥	237	369	992		1,598

※2014年度以前の1級取得者（全国大会出場者）は62名。

総計1,660名

8. デジタルトランスフォーメーション委員会

1. 2021年度　活動総括

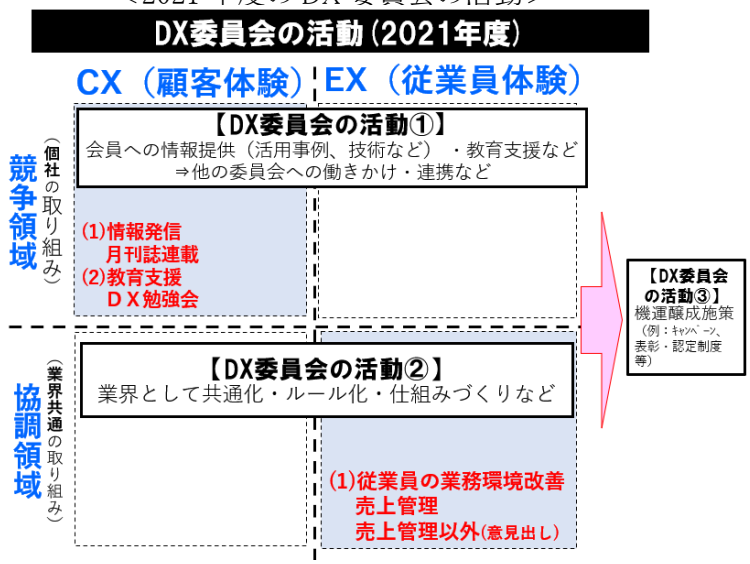
(1)総括

2021 年度は、DXを通じた「顧客体験の向上」と「SC における従業員の業務効率化・生産性向上」を目的に活動を行った。

具体的には、「顧客体験の向上」については、各社がそれぞれ特性を打ち出して取り組む領域との考えから、各社のDX人材育成に寄与すべく、DXのハウツーに関する月刊誌連載を開始するとともに、DX勉強会を 2 回(10 月、2 月)開催した。

また、「SC における従業員の業務効率化・生産性向上」については、業界共通の課題として売上報告／売上管理の効率化・生産性向上を検討するワーキンググループを立ち上げ課題の深堀りと解決策を議論した。次年度は、これまでの議論を提言としてまとめ、発信していくこと、加えて、いっそうの効率化にむけて引き続き議論を継続する。

＜2021 年度の DX 委員会の活動＞



横軸:【競争領域(各社で取り組むこと)】と【協調領域(業界共通で取り組むこと)】
縦軸:【CX(顧客体験)】と【EX(従業員体験)】

(2)事業報告

1)【EX×協調領域】売上報告／売上管理の効率化・生産性向上に向けた取り組み

2020年度に「SCにおける従業員の業務効率化・生産性向上」の観点で業界共通の課題について議論した結果「売上報告／売上管理」への取り組みが決定した。

これを受けて、2021年度はこの課題解決のため、ワーキンググループ(名称:EX×協調領域推進WG。以下、WG)を立ち上げ、課題の深堀りと解決策について議論を進めた。

WGでは、EX向上のため、売上報告／売上管理の非効率的な部分は解決すべき課題との認識で一致した。また、一部SCで導入が進んでいるOCR方式を解決策の事例として発信するとともに、長期的な視点から、テナントとディベロッパーの売上情報の連携について議論することとなった。

課題の深堀り

現在のSCでは、テナントの持ち込みレジとCAT等のディベロッパー提供端末とが共存している状態を、テナント従業員が手作業で連携している。

そのため、レジ精算ならびに閉店後に行う売上報告について、テナント企業（従業員）に、非常に大きな負荷がかかっている。具体的な負荷の内容として、下記の意見をWGとしてとりまとめた。

a. 日中のレジ決済時に二度打ちを要し、誤打が発生する。その結果、閉店後の報告業務の作業時間が増えること。
b. 紙金券類は一定の販促効果はあるが、一連の適切な管理・処理においては業務的・心理的負担も大きいこと。
c. 各ディベロッパーが定める売上報告の流れや提出物等が千差万別に存在すること。
d. ディベロッパーもテナントからの報告内容の精査に多くの労力を割いていること。

解決策についての検討

a. **OCR活用**

OCRを用いて、精算レシートの各項目から必要な情報を読み取り、ディベロッパーへの売上報告項目へ自動で集計するシステムについて、既導入ディベロッパーの事例を踏まえて意見交換を行った。既導入ディベロッパーでは、現状では読取精度等の課題もあるが、精算レシートから売上報告項目への転記作業時間の削減、ディベロッパー間の報告内容の差の解消（新規従業員への教育時間の削減）が期待されるなど、高い評価を得るとともに、解決策の一つとして発信すべきとの意見となった。

b. **紙の金券類やクーポンの電子化、ポイントサービスの活用**

SCは、販促等の一環として紙の金券類やクーポンを利用しており、その処理にテナント、ディベロッパーの双方で作業時間を要している。これらの廃止の優先順位は非常に高いとの意見となった。

c. **ディベロッパーへの報告内容について、標準モデルの策定など業界ぐるみの取り組み**

d. **テナントとディベロッパーとの売上情報の連携**

OCR方式だけでは解決できない課題がある。長期的な視点でテナントとディベロッパーの売上情報の連携が必要であると考え、今後はその連携について、システム提供企業も交えて議論を進めていくこととなった。

今後の発信について

2022年度には、これまでのWGでの議論について、その進捗を「提言」として発表し、**問題意識・解決機運の醸成を図る**ことに決定した。

2)【CX×競争領域】月刊誌連載「DX 推進のハウツー」

DX ビギナーから現在取り組んでいる企業までを対象に、DX の目的・本質等の DX 推進の効率的・効果的な進め方や留意点、そして実際に SC の現場での応用などについて、月刊誌各号の特集テーマに関する事例を交えた連載を「SC JAPAN TODAY」2021 年 7・8 月合併号より開始した。

<連載記事>

執筆者:店舗の ICT 活用研究所　代表 郡司 昇氏

号	回	連載テーマ	概要(主旨・ポイントなど)	(参考)特集テーマ
2021 年 7・8 月合併号	1	DXの本質と目的	・DX は準備と変化対応が肝腎 ・DX のスタートはゼロベースで戦略・戦術の再構築をする前準備 ・小売業の本質	ニューノーマル時代の"真"業態開発／ミクストユース開発の最新動向
9 月号	2	DX のはじめ方①	・因果関係と全体最適 ・ボトルネックを見つけるために業務の流れを把握する ・社内のデータがどこに何が有るか把握する ・データの集約方法とシステムアップデート	東日本大震災から 10 年～それぞれの思い、コロナ以降の災害対策～
10 月号	3	接客の DX	・アルタ・ビューティなどの事例を交えた接客における DX のポイントを解説	接客のニュースタンダード
11 月号	4	リアル店舗と EC＋αの融合 オムニチャネルがなぜ有効なのか	・国内 EC の動向 ・小売業の成長にオムニチャネル化が不可欠である理由 ・店舗の役割は多様化	EC と融合する SC
12 月号	5	DX のはじめ方② DX プロジェクトが破綻する原因と対策	・アリとキリギリス ・プロジェクトが破綻する3つの理由 ・プロジェクトを破綻させない対策	消費で加速する SDGs
2022 年 1・2 月合併号	6	DX に必要なヒト・モノ・カネの計画と社内稟議	・DX 責任者の一番の困りごとは社内にある ・稟議申請のポイント ・ヒト・モノ・カネの確保＝兵站	これからの SC 公式アプリ／攻めと工夫の SC 販促イベント
3 月号	7	「客数が減っているから売上げが落ちている。客数を増やせ！」は間違ったデータ分析	・データ分析は小売業になぜ必要か ・データの種類 ・データ分析の最初の一歩 ・相関関係と因果関係	第 46 回日本ショッピングセンター全国大会
4 月号	8	セキュリティ対策	・二段階認証と二要素認証の違い ・二要素認証が必要な理由 ・多要素認証の例	ウェルビーイング～心も体も満たされる SC づくりとは～
5 月号	9	データを活用する知恵を磨くには	・フロー情報とストック情報は相互利用する ・DX 前工程の情報デジタル化 ・DIKW モデル ・知恵を磨く方法	次代の主要顧客　Z 世代
6 月号	10	日本のショッピングセンターDX	・AI×人の力の可能性 ・SC の案内所／休憩スペースの課題と DX ・連載の最後に	SC の食はネクストステージへ(仮題)

(連載テーマは予定を含む)

3)【CX×競争領域】DX 勉強会

SC業界における人材育成の一環として、月刊誌との連動企画として「DX 勉強会」を開催した。
第1回（10 月 4 日）を基礎編、第2回（2 月 14 日）を実践編として企画したが、申込開始と同時に多くの参加者からエントリーがあり、会員企業の興味の高さがうかがえた。

DX専門家として郡司氏に2回の勉強会を通じてDXの進め方を体系的に講義頂いた。それを踏まえて、第2回の実践編ではSCでの事例を紹介したが、参加者からの質問も活発で、具体的な取り組みに対する関心の高さを感じた。

＜第1回 DX 勉強会＞

開催日・場所	2021 年 10 月 4 日（月）・協会会議室＆オンライン（Microsoft Teams）
プログラム	①講演会『DX 推進の成功は、まずは基本から』 ［講師］店舗の ICT 活用研究所　代表 郡司 昇氏 ②情報交換会『自社の DX 推進の悩み』 ［モデレーター］林副委員長 ［特別アドバイザー］店舗の ICT 活用研究所　代表 郡司 昇氏
参加者数	**47 社 81 人** ［内訳］ 参加形態別　会議室：25 人、オンライン：56 人 会員種別別　第一種：31 社 59 人、第二種：4 社 4 人、賛助：12 社 18 人

＜第 2 回 DX 勉強会＞

開催日・場所	2022 年 2 月 14 日（月）・協会会議室＆オンライン（Microsoft Teams）
プログラム	①講演会『DX 推進のハウツー　実践編「データとデジタル技術の活用」』 ［講師］店舗の ICT 活用研究所　代表 郡司 昇氏 ②講演会『「ジョイナス」における DX の取り組みとアクセラレーションプログラム』 ［講師］㈱相鉄ビルマネジメント　運営事業部　横浜営業所所長　木村 充宏氏 ③講演会『アプリを活用した新しい顧客体験の提供』 ［講師］㈱アイリッジ 営業本部 ビジネスパートナー部　部長　井上　直人氏
参加者数	**37 社 64 人** ［内訳］ 参加形態別　会議室：4 人、オンライン：60 人 会員種別別　第一種：33 社 60 人、第二種：4 社 4 人

9. SC 経営士会

1. 2021年度 活動総括

(1) 総括

2021年度は、幹事会を4回、会長・副会長会議を4回開催し、活動内容等について審議を行った。これを受けて、ブロック活動、例会（夏・秋・春）、年次ゼネラルミーティング（1月）を開催、SCビジネスフェア2022では業務・広報グループが中心となって、SC経営士会主催のセミナーを開催した。引き続き、人材育成委員会からの依頼を受けて、SC経営士更新講習の企画や冠講座の講師を提案した。

また、業務・広報グループでは『SC経営士会【THE CIRCLE】』を内容の充実を図り6回配信した。

研鑽・研究グループでは、年間課題研究としては「アフターコロナを見据えたショッピングモールの未来像」をテーマにインタビュー形式による対談を収録し、Youtubeで配信すると共にSC協会のホームページ等に掲載した。

ブロック活動では、北海道から九州・沖縄まで7ブロックがSC経営士相互の交流を促進する行事を実施したほか、協会支部と連携した企画に取り組んだところもある（参照／2021年度SC経営士会活動一覧）。

(2) 事業報告

1)「例会」について

①「夏の例会」

・開催日時　2021年6月29日（火）15:00～17:00
・参加(申込)人数　112名
・会場形式　ZoomによるWEBセミナー形式　パネルディスカッション
・テーマ　「SCのビジネスモデルの変換・拡張・生き残りのヒント～内から外から、打ち破れ！」
講師　山田 宗司 氏　（JR西日本SC開発株式会社　顧問）
講師　河村 昌美 氏　（事業構想大学院大学　事業構想研究所　教授）
ファシリテーター　ハーレイ・岡本 氏（株式会社イマジネーションプロみなみかぜ　代表取締役）

②「秋の例会」

・開催日時　2021年11月30日（火）　15:00～17:00
・参加人数、アンケート回答数
事前申込者数　125名
当日参加者数　約100名
アンケート回答数　44名（アンケート回答内容については別途配布）
・会場形式　Zoomによるオンライン受講
・テーマ　～ 注目施設「ミッテン府中」と「港南台バーズ」の事例に学ぶ、
新時代のショッピングセンターの役割 ～

【第1部】　15:00～15:30
「港南台バーズ」の事例紹介
㈱相鉄ビルマネジメント　運営事業部 港南台営業所 所長　小峰 勲 氏

【第2部】　15:30～16:00
「ミッテン府中」の事例紹介
㈱ノジマ　施設運営グループ ミッテン府中運営事務所 館長　栗原 郁男 氏

【第3部】　16:00～17:00
クロストーク、質疑・応答
【司会進行】
㈱東急モールズデベロップメント
二子玉川ライズ・ショッピングセンター マネージメントオフィス
プロモーションチーム イベントチーム シニアマネジャー　蓮池 美砂絵 氏
（SC経営士会　関東・甲信越ブロック　運営委員）

③「春の例会」

・開催日時　　2022年3月15日（火） 15:00～17:10

・参加人数　　50名

・会場形式　　Zoom によるウェビナー形式

・テーマ　　SC カレッジ！～「我々は何者か！？」SC ビジネスを捉え直し、新たな市場創造を～

講師　小樽商科大学 大学院・商学研究科アントレプレナーシップ専攻 教授

猪口 純路 氏

【第1単元】「講義」15:00～15:40

「市場志向について、SC の価値と事業の再定義・マーケティングについて」

・事業の再定義「WHO」「WHAT」「HOW」を利用し、SC 事業を再定義する

【第2単元】「ワーク」15:45～16:25

「講義の理論を現場で使えるツールに変換しよう！」

・第1単元を踏まえて、自社、自 SC 事業の再定義を行い、テーマごとにブレイクアウトルーム内でディスカッション及びワークを行う

【第3単元】「発表＆講評」16:30～17:10

「全体シェアおよび講師からの講評」

司会進行 ㈱アトレ 四谷店 店長 春川 智 氏（研鑽・研究グループ グループ長）

2）「年次ゼネラルミーティング」について

・開催日時　　2022年1月26日（水） 10:30～12:00

・会　　場　　パシフィコ横浜　会議センター　503号室

・プログラム　　SC経営士会会長挨拶、副会長・ブロック長紹介、2021年度活動報告、2022年度活動計画、新SC経営士紹介（インタビュー）、参加者交流会

・参加者　　75名

3）SCビジネスフェア2022　「SC経営士会主催セミナー」

・開催日時　　2022年1月26日（水）16:15～17:45

・会　　場　　パシフィコ横浜　展示ホール　A会場

オンラインで現地SCを繋ぐ初のハイブリッド開催

・テーマ　　「若きSCリーダーによる未来への提言/伸びるアジアでのSCや施設開発・運営実務から、日本のSCを俯瞰する！」

コーディネーター　樫根 亮　氏　イオンモール㈱　CX創造本部　中四国事業部　営業サポートGマネージャー

コーディネーター　中山　亮　氏　㈱トリニティーズ　代表取締役社長

パネリスト　新出 正人 氏（SC経営士）　TOKYU MALLS DEVELOPMENT (HONG KONG) LIMITED 東急商業發展（香港）有限公司総経理

須堯 一樹 氏（SC経営士）　AEON MALL(CAMBODIA) CO.,LTD. Administrative and Accounting Department General Manager

平田 周二 氏（SC経営士）　ベカメックス東急BECAMEX TOKYU Co.,LTd. Executive Director

伊藤 浩平 氏（SC経営士）　微風南山atre　微風艾妥列控股股份有限公司 総経理

・参加者　　80名

4) SC経営士登録更新講習について

人材育成委員会からの依頼を受けて、SC経営士登録更新講習を企画し、2021年度SC経営士更新講習を東京(9/29、61名、11/2、30名)にてリアルとオンライン(Zoom)によるハイブリッド形式で行った。

5) 冠講座の企画について

冠講座についても人材育成委員会から依頼を受けて、2021 年度は前期は流通科学大学、後期は日本大学で実施した。具体的には、協会事務局と連携して、カリキュラムのそれぞれの単元について、支部管内の企業、SC経営士等の講師案を作成し実施。

6) SC経営士会【THE CIRCLE】の配信について

業務・広報グループでは『SC 経営士会【THE CIRCLE】』の内容のいっそうの充実を図り、第 19 号(5 月 28 日発行)から第 24 号まで 6 号を配信した。

7) 課題研究について

昨年度は新型コロナウイルス感染症が拡大するなか、今後のSC業界のパンデミック対策の一助とすべく「新型コロナウイルス感染症対策」をとりまとめた。本年度は「アフターコロナを見据えたショッピングモールの未来像」をテーマとして以下の内容にて研究を進めた。

＜推進方法＞

インタビュー形式による対談を収録し、Youtubeで配信するとともにSC協会のホームページ等に掲載。

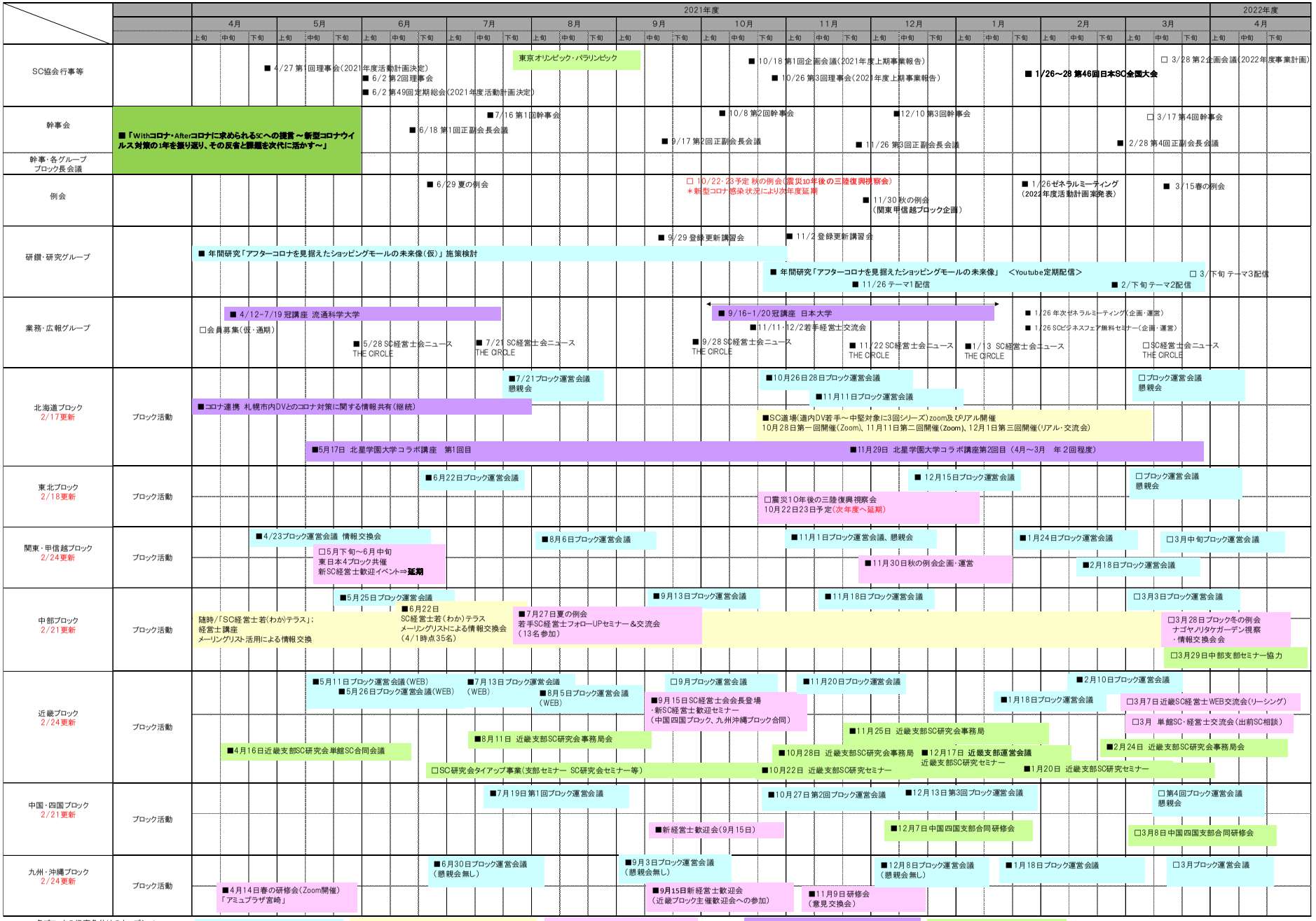
＜各回のテーマ＞

【テーマ1】マーケティング・デジタルトランスフォーメーション （2021年11月26日配信）

【テーマ2】テナント側から見るSCビジネス （2022年3月1日配信）

【テーマ3】SCにおける官民連携と地方創生事業の実践 （2022年3月末配信）

2021年度　SC経営士会　活動スケジュール

■：実施済み　　□：予定

2022/3/17